

2021年 8月28日～29日 泉大津フェニックス実施に伴う

新型コロナウイルス 感染拡大防止ガイドライン

[初 項]

RUSHBALL
2021

管理

COCOA

大阪コロナ
追跡システム

徹底

移動手段に関する
ガイドライン

電車・バス・自家用車

遵守

新型コロナウイルス
感染拡大防止
ガイドライン

イベント参加者全員

強化

二次的
感染要素による
感染拡大防止対策

飲食・熱中症対策

モラル

会場内・市街地
における
感染拡大防止対策

参加者全員でのマナー意識

ガイドラインの目的

RUSH BALL 2021 大阪府泉大津フェニックス
2021年8月28日(土)・8月29日(日)

RUSH BALL は 2020 年内閣府・ACPC (一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会) 大阪府が示すガイドラインを参考に、例年と大きくルールを変更し、規模感の縮小と新型コロナウイルス感染防止対策を施しながら開催しました

公演終了の2週間後もイベントによるクラスターの発生はなく関係機関からの感染者の拡大の報告もなく、無事終了することができました。

2021 年も RUSH BALL は、国の定めるイベントの感染拡大予防のガイドラインを基に大阪府・泉大津市の地方自治体ともに、万全の感染症予防対策を行う感染者の出ない野外イベントの実施を目指します

- ・すべてのイベント参加者(主催者・現地スタッフ・来場者・出演者・イベント関係者)はマスクの着用・手洗い・手指消毒と身体的距離の確保を各自が遵守するものとします
- ・WEB 問診での体調管理、検温報告での早期対応を図り「COCO A」「大阪コロナ追跡システム」の登録推進を向上させていきます
- ・輸送に関しては、車内密室の状況を必ず避け、マスクの着用、社内での会話を極力避けるなどの対応を励行し、市中での徒歩往路に関しても、マスクの着用、会話の回避、滞留を避ける等のアナウンスを徹底いたします
- ・会場内に関しては、スタンディングエリアでの身体的距離の確保を取れる運営方法を模索し密集を避ける、マスクの着用、声援の無いよう注意喚起し、来場者全員が理解のもと実施します
- ・夏季のため熱中症対策が不安視されていましたが、昨年は個人々での素晴らしい対策を施していただき、臨時救護所への救急搬送は2日間で2件ほどでした。(いずれも熱中症疑い)
本年も参加者へ対策の励行を促しつつ、救護スタッフの運営方法の向上を目指します
- ・衛生面に留意し、簡易トイレに換気扇の設置や手洗い場所の増設はもとより、参加者全員が感染防止を意識した日中の過ごし方を認識した上で実施します
- ・チケットに関しては電子チケットを全面的に活用し、万が一感染者の情報が保健期間から来た場合に備え、速やかに情報提供をできるようにいたします
- ・客席内での飲食は「黙食」を励行し、「長い時間マスクを外し密接する状況で会話をする」ことを避けるよう徹底します。合わせて、暑さ対策のため「水分補給の徹底」も励行します。

感染状況や政府、大阪府の方針の変化に準じてこのガイドライン・対策方法は更新します

RUSH BALL 2021 制作委員会

★ 運営(輸送計画)に関して

駅からの乗降所間での滞留はこの人数であれば可能性は低く、合わせて注意喚起をポスト付けて随時行うことにより感染原因を排除できると考えます。

大阪市内バス乗車場→会場バス降車場

泉大津市内バス発着場⇄会場バス発着場

会場バス乗車場→大阪市内バス降車場

市中誘導を減らす目的とし、上記の輸送手段に分散させ輸送する時間制・時間指定・各種人数を限定するような対策を行います。

★ 開催当日のシャトルバスに関して

公益社団法人 日本バス協会のガイドラインを基に、バス車内に可能な限り手指消毒液を装備し、来場者が乗車する際に手指消毒をお願いし、マスクの着用・咳エチケットの励行・車内など密閉空間での会話をしないこと等を徹底します。バス乗降所での待機に関しては、キャパシティへの滞留の情報を逐一本部と連携をし、車内での拡大防止への励行を必ず行います。

★ チケット販売に関して

チケット販売のプレイガイドを限定し、個人情報の登録を必須にしたうえで追跡可能な状況での販売に従事したいと考えています。電子チケットを推奨し、関西2府4県にお住まいの方から段階的に購入可能エリアの拡大を目指します。転売・譲渡一切禁止、転売チケットは入場できません。また、チケット購入後のキャンセル・変更は一切出来ません。

★ 会場での運営に関して

- ・入場待機列のそれぞれの距離を保つよう目印を施し、常時注意喚起します。
- ・物販所での遮断幕(ビニールカーテン等)による飛沫感染予防常時手指消毒の励行や、テーブル椅子などの備品の定期的な消毒を実施します。
- ・客席内の身体的距離を確保するために積極的な声かけ等健康と安全のための対策を徹底し、慎重に運営してまいります。
- ・COCO A・大阪府推奨の「大阪コロナ追跡システム」の登録・運用します。
- ・会場内は、前方スタンディングエリアと後方シートエリアがございます。
 - ▶前方スタンディングエリア：シート/座り込み禁止
 - ▶後方シートエリア：密を避ける適度な距離(1m目安)を保ってシートを広げてご利用ください。

その他

開催当日までに様々な関係機関に協力を仰ぎ、常時最適な運営ガイドラインを更新し、万全の体制で安全を提供できるイベントを目指します

随時政府と大阪府の「感染対策方針」を参照し、より良き実施内容を目指します。

目次

1. 感染予防の基本的な取り組み ～野外イベントにおける対策～
2. 輸送に関して
3. 基本対策（事前準備）
4. 基本対策（当日準備）
5. 基本対策（入場時）
6. 基本対策（公演時）
7. 基本対策（退場時）
8. 基本対策（公演後）
9. 基本対策（物販）
10. 基本対策（飲食関連）
11. 基本対策（感染が疑われる場合の対応）
12. その他の取り組み

1 感染予防の基本的な取り組み ～野外イベントにおける対策～

スタッフの保健衛生対策の徹底

- ★ マスク着用、及び施設の入出りの際に、手指のアルコール消毒、または手洗いを実施する。
- ★ 検温の励行及び、発熱、のどの痛みなどの感冒症状がある場合は出勤しないようにし、現地スタッフの会社の従業員の管理徹底を周知する。
- ★ 清掃やごみの廃棄を行う者は、マスクや手袋を必ず着用し、作業後は手洗いをを行う。
- ★ ユニフォームや衣類をこまめに洗濯する。

来場者の保健衛生対策の強化

- ★ マスク着用、手指のアルコール消毒、手洗いの実施の徹底を喚起する。
- ★ 発熱やのどの痛みなどの感冒症状がある場合は来場しないよう事前に周知をする。

施設の消毒の徹底

- ★ ドアノブ、手すりなど、多くの人が触れる場所は消毒を行うが各自が、こまめに手指消毒をする
- ★ トイレの衛生管理を行う（清掃の徹底、換気扇の設置、手洗い場の増設）

定期的な換気の実施

- ★ 控え室や救護室など、屋内施設の換気を徹底する。

人と人の接触機会の減少

- ★ フードドリンクの対面販売では購買者との間をアクリル板やビニールシートなどで遮蔽する。
- ★ 現金の取扱をできるだけ減らすため、キャッシュレス決済やオンラインチケットの導入を検討する。
- ★ 入場時の受付の際は、マスクや手袋を着用し、接触機会を減らす対策をこころじる。

様々な場面での人との距離に関して

- ★ 行列ができる際は、間隔を空けた整列を促す。
- ★ 人が滞留しないように、ブロックごとの入場や退場にて運営する。
- ★ 客席において身体的距離を確保するよう、来場者に促す。

感染者の発生に備えた情報収集

- ★ 主催者は、感染が疑われる者が発生した場合に、公的機関に情報提供することを伝えた上で、全ての参加者の氏名、緊急連絡先の情報を把握する。
- ★ 「大阪コロナ追跡システム」のQRコードを会場に掲示し、公演当日、来場者によるメールアドレスの登録を原則とする。
- ★ WEB 問診への登録を原則とする

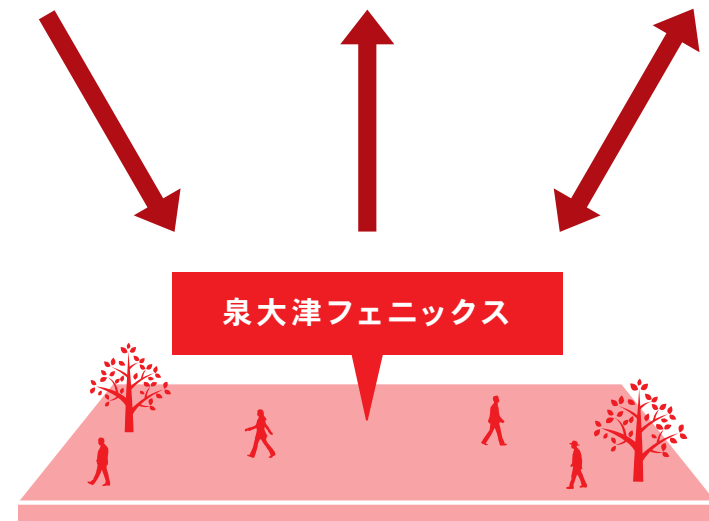
感染防止の取組の積極的な発信

- ★ ガイドラインに基づく感染予防の取組について、会場の外及びロビーなどに掲示する、ホームページに掲載・SNS での発信するなど情報を適宜公示する。

2 輸送に関して

RUSH BALL 2021 は、市や感染予防のもと
シャトルバス（市内乗降◀▶ 会場）を出来るだけ減らし、
大阪市内からの直通直行バスの導入を昨年同様、実施します。

往 路	復 路	往 復
天王寺エリア	キタ・ミナミアリア	泉大津 シャトルバス乗降場 (時間制限) 運行時間制限
なんばエリア		
ミナミアリア		



3

基本対策 事前準備

主催者・スタッフが取り組むべきこと

- 1 マスク着用、手指消毒、手洗いを徹底する
- 2 ガイドライン及び現場の対応方針を周知徹底する
- 3 作業開始3日前から毎日検温、体調報告を遂行する
- 4 発熱やのどの痛みなどの感冒症状がある場合は出勤しないように、勤務先や関係先に連絡・報告する
- 5 運営・管理に必要最低限度の人数とするなど、ジョブローテーションを工夫する
例) ・準備作業の見直し、余裕を持った時間設定
・従事するスタッフのマルチタスク化を推進 など
- 6 ユニフォームや衣服をこまめに洗濯する
- 7 来場者との接触機会を減少できるような取り組みを工夫する
例) ・オンラインチケットやキャッシュレス決済の導入
・飲食店舗における飛沫等を遮蔽する対策物の設置等

来場者に事前周知すべきこと

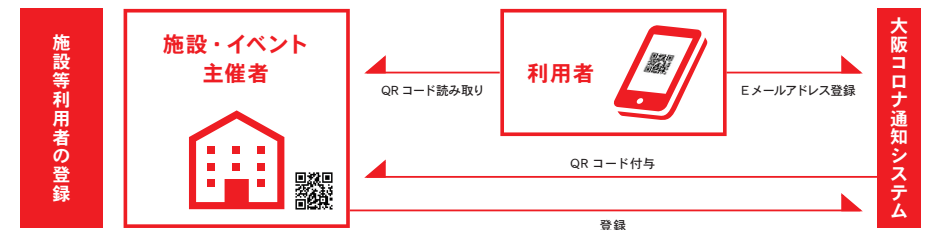
- 1 マスク着用、手指消毒、手洗いを徹底する
- 2 発熱やのどの痛みなど、感冒症状がある場合には来場を断念し、医療機関に相談、感染の恐れがある場合、診断書等をもって、リセール・払い戻しの対応を促す。



例) 施設定員は定める制限数を見極め、1回あたりのチケット販売上限を設定する

その他

- 1 公演関係者の氏名、緊急連絡先、勤務状況を把握し、名簿を作成する
- 2 COCOA・QRコードを利用した「大阪コロナ追跡システム」の活用を原則とする



4 基本対策 当日準備

主催者・スタッフが取り組むべきこと

- 1 マスク着用、手指消毒、検温を実施する
- 2 発熱やのどの痛みなど、感冒症状がある場合は勤務停止、バックヤードへの入場を禁止する
- 3 バックヤードへの入場は必要最小限の人数に制限する
- 4 不特定多数の人が触れる場所を消毒する
例) ・ドアノブ、手すり、椅子、楽屋や控え室の備品を消毒する
・レンタルした備品は、搬入・設置後に消毒する など
- 5 感染を予防できるような備品、消耗品を設置する
例) ・マスク、消毒液、ビニールカーテン、ペーパータオルを設置する
・楽屋では使い捨ての紙皿や紙コップを使用する
・使い回しが発生しないよう徹底する



来場者に依頼・周知すること

- 1 マスク着用、手指消毒、手洗いを徹底する
- 2 発熱やのどの痛みなど、感冒症状がある場合には来場を控えるよう周知する
- 3 来場時の検温の実施など感染予防対策を周知する
例) ・非接触体温計の導入
- 4 来場当日のWEB問診票の登録を原則とする
- 5 COCOA・「大阪コロナ追跡システム」の利用を原則とする
例) ・システム導入に伴う、入場口の動線再検討とシステム利用時の注意事項を事前周知する

5 基本対策 入場時

会場入口において行うべきこと

- 1 来場者へのマスク着用の喚起、手指の消毒、検温を実施する（再入場の際も同様）
- 2 来場者への検温を実施し、発熱やのどの痛みなど、感冒症状がある際は入場しないよう要請する

具体的なケース

- ★ 37.5℃以上の発熱
- ★ 咳、呼吸困難、全身倦怠感、嘔頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- ★ 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある

- 3 「大阪コロナ追跡システム」の利用を促す

- ・ 来場当日に WEB 問診票の登録を実施
- ・ COCOA の推奨



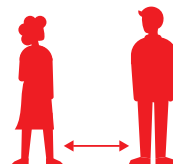
入場時の行列に関して行うべきこと

- 1 身体的距離を確保するように間隔を空けた整列を促す

- 例) ・ 入場列は一定の距離を確保する
- ・ 分散入場や立ち位置の指定 など

- 2 入場列の整理スタッフへのジョブローテーションなど熱中症のリスクを低減する

- 例) ・ スタッフ交代を 2 時間交代 → 1 時間交代に変更
- 30 分の休憩確保 など



チケットに関して行うべきこと

- 1 来場者との接触機会を減少できるような取り組みを推進する
- 2 入場時のチケット確認の簡略化を検討する
例) ・ 来場者が提示した内容をスタッフが確認する
・ 電子チケットを推奨する など
- 3 入場口で来場者に対応するスタッフは、マスクや手袋を着用する。
作業前後は、石けん・流水による手洗いを徹底する。



来場者に関して行うべきこと

- 1 パンフレット・チラシ等は手渡しによる配布を避ける
例) ・ ウェブ上で実施する
・ 貸出物は十分に消毒する、消毒が難しい場合は貸出しない など
- 2 プレゼント、差し入れ等は控えるよう呼びかける



熱中症対策に関しての対案は、随時思案中です

熱中症によるコロナウィルス感染の疑いを差別カスベククールダウンシステム等対策を実施

6

基本対策 公演時

主催者・スタッフが取り組むべきこと

- 1 マスク着用、手指消毒、手洗いを徹底する

- 2 来場者と演者が接触するような演出は行わないようにする

例)・モッシュ ダイブ禁止
・声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハイタッチなどは行わない
- 3 会場内でも適宜手指消毒ができるよう、消毒液を設置する

来場者に依頼・周知すること

- 1 マスク着用、手指消毒、手洗いを徹底する
- 2 公演中の来場者同士の接触は控えるよう呼びかける
- 3 会場内における大声での発声や会話を控えるよう促す
例)・開演前のアナウンスで注意事項を周知する
・声援やかけ声を控えるよう呼びかける など
・モニター表示で注意喚起する

その他運営に関すること

- 1 事前に密集状況が発生しないよう、余裕をもった休憩時間に設定する
例)・転換時の休憩など、注意喚起
・転換の時間をしっかりと設定する
- 2 休憩時はトイレなどでの行列に注意し、行列の整理など混雑緩和に努める
例)・トイレへは、分散して誘導する など
- 3 感染の疑いのある者が発生した場合、速やかに且つ適切に対応する
例)・別室に隔離し、マスクと手袋を着用して対応する。
症状確認後、保健所等関係各所へ連絡する。
- 4 主催者が要請するルールやマナーを遵守できない来場者に対し、退場を促すことを検討する
※出演者の方にも主催者・スタッフと同様の感染防止対策を取っていただく
- 5 不特定多数の人が触れる、ドアノブなどは定期的に消毒する

7 基本対策 退場時

主催者・スタッフが取り組むべきこと

1 時間差での退場を促すなど密な環境が発生しないように取り組む

- 例)・余裕を持った退場時間を設定する
・混雑する状況にならないように促す
・券種ごとの時間差での退場を行うエリア
・退場口へは、エリアごとに退場動線の設定を検討する など

2 行列が生じないように、動線の設定や誘導を工夫する

行列が発生する場合は、身体的距離を確保するよう、間隔を空けた整列を促す

3 交通機関との連携を行う

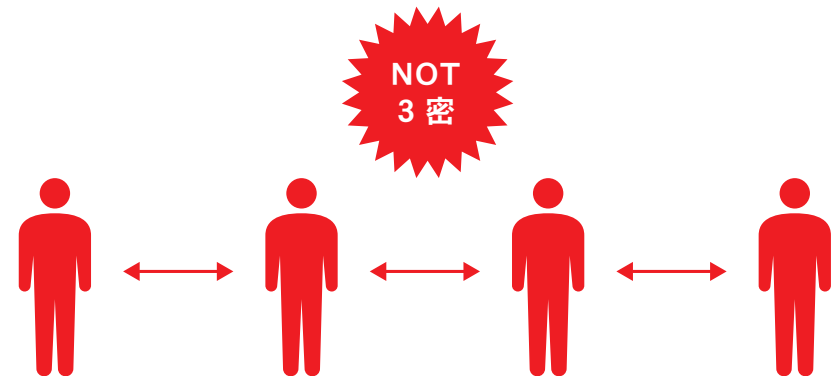
交通機関との連携や誘導のための案内表示など、以前から取り組んでいる内容を継続します。

- ★ シャトルバス運行管理担当者との連携
- ★ 最寄駅との情報共有（臨時便の設定依頼を含む）
- ★ 移動する人数を想定した動線の設定、行列スペースの確保
- ★ 適切な案内表示（「駐車場はこちら」「泉大津駅はこちら」）

退場口において行うべきこと

1 出待ちや面会等は控えるよう呼びかける（密集を避ける）

2 プレゼントや差し入れ等は控えるよう呼びかける



8

基本対策 公演後

会場にて行うべきこと

- 1 不特定多数の人が触れた場所を消毒する
- 2 清掃やゴミの廃棄を行う際は、マスクや手袋の着用を徹底し作業後は手洗いのする

主催者・スタッフが取り組むべきこと

- 1 密な環境にならないよう、撤去時間に余裕をもたせる
例)・撤去作業の工程の見直し
・従事工程ごとに従事者を特定し、室内の人員を最小化 など
- 2 物販などで行列が発生する際は、身体的距離を確保するよう間隔を空けた整列を促す
- 3 機材や備品、用具等を取り扱う際は、不特定者の共有を制限する
- 4 清掃やゴミの廃棄を行う際は、マスクや手袋の着用を徹底し作業後は手洗いのする
- 5 感染が疑われる者が発生した場合に、公的機関による聞き取りに協力し、情報提供を行う

感染が疑われる者が出た場合に備え、来場者、スタッフの名簿が作成できるように、事前に対策を行います。名簿を作成する際は、個人情報保護の観点から、名簿の保管に十分な対策を行います。

来場者に依頼・周知すること

- 1 退場時においても身体的距離を確保するよう周知する
- 2 出待ちや面会、待ち合わせなど、密な環境が発生しないよう周知する
- 3 様々な帰宅手段に於いて、道中での滞留をせずそれぞれが直帰するように注意喚起する

9

基本対策 物販



物販をする際に留意すること

- 1 従業員のマスク、手袋の着用、手指消毒、手洗いを徹底する
- 2 対面での販売は、フェイスシールドやビニールカーテンの設置など、購買者との間を遮蔽できるよう努める。
- 3 購買者との接触機会を減少できるような取り組みを検討する（キャッシュレス決済導入など）
- 4 行列ができてしまう際は身体的距離を確保するよう間隔を空けた整列を促す

その他検討するべきこと

- 1 多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わない
- 2 物販の通信販売を導入する

10

基本対策 飲食関連

飲食店舗において取り組むべきこと

1 定期的な換気

例)・テントの横幕を開放する

2 施設の消毒

3 スタッフの保健衛生対策

例)・注文や配膳、会計などをする際は、必ずマスクを着用する
・お客様が残したゴミや利用したおしぼりなどを回収する際には、
できる限り、使い捨て手袋やマスクを着用し、作業後は速やかに
手洗いするなど



利用に対し周知・依頼するべきこと

1 来場者の保健衛生対策

例)・使い捨て容器やカップを使用する
・大皿での提供やトングの共有を控える食べ飲みまわしのないよう注意喚起。

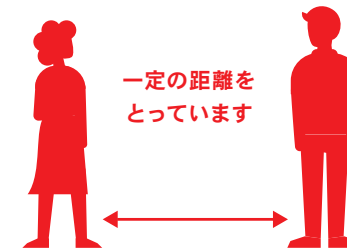
2 人と人の接触機会の減少

例)・キャッシュレス決済の導入を検討

3 社会的距離の確保

例)・飲食可能な客席間を区画する
・グループ間の安全を確保するために、
他グループとの相席を避けたり、間隔を空けた配置で案内する など

4 行列ができてしまう際は身体的距離を確保するよう 間隔を空けた整列を促す



11

基本対策 感染が疑われる場合の対応

スタッフの場合

- 1 スタッフが濃厚接触者となった場合は、現場には参加せず14日間の自宅待機とする
- 2 感染が疑われるスタッフは、勤務先や関係先に連絡をした上で、保健所の相談窓口連絡し、指示に従う
- 3 スタッフの感染が陽性と確認された場合、勤務先や関係先に連絡をした上で、保健所等の指示に従い、医療機関への入院やホテル等で宿泊療養を行う勤務先は、感染したスタッフの状況把握に努める
- 4 スタッフが感染した場合は、当該スタッフの濃厚接触者を特定し、各セクションの管理体制を関係機関に提出し、感染拡大防止を迅速に行う

来場者の場合

- 1 発熱や呼吸困難、倦怠感など感染が疑われる来場者が現れた場合は、他の来場者と区分した部屋で待機させ、マスク着用の上、外に出ないようにする
- 2 保健所の相談窓口連絡し、感染の疑いのある者の状況や症状を伝え、保健所からの指示に従う
- 3 37.5℃以上の発熱があった患者が平熱に戻った場合、観覧エリアには戻さず医師の判断を仰ぐ
- 4 他の来場者への情報提供は、保健所の指示に従う
- 5 来場者、スタッフ等の名簿を作成し、保健所への提出に備える

感染が疑われる者が出た場合に備え、来場者、スタッフの名簿が作成できるように、事前に対策を行う。

新型コロナウイルス感染症に関する
相談窓口・問い合わせ先

和泉保健所

相談窓口

電話番号：06-6944-8197 開設時間：9時00分～18時00分（土日祝含む）

受診相談

電話番号：06-7166-9911 開設時間：土日含め終日つながります

12 その他の取り組み

野外ステージ

- ★ 可能な範囲で手洗い場を設け、手洗い・うがいができるよう取り組む
- ★ 手指消毒ができる場を設ける（消毒液の設置）
- ★ 設営時や撤去時の食事時などで多くの従事者が一斉に集まらないよう、休憩時間に時間差を設けたり、休憩場所を広くとるなど工夫をする
- ★ 雨天や荒天時を想定し、来場者が避難できる場所を多く設けたり、避難場所がテントなどと想定される場合は、横幕を開けた形で風通しを良くする
- ★ 来場者へのゴミ捨て場の周知や、ゴミの廃棄に携わる従事者の衛生の徹底など、会場内にゴミが散乱しないよう取り組む



RUSH BALL 2021

2021年8月28日・29日

泉大津フェニックス